

蘇州横浜輪胎有限公司 CSRレポート

事業内容: トラック・バス用タイヤの製造、販売
敷地面積: 79,000m²
従業員数: 391人(2009年12月末現在)
所在地: 中国 江蘇省蘇州市蘇州高新区華橋路158号
 TEL: +86-512-6616-7552



社長ご挨拶



中島 一郎

蘇州横浜輪胎は2008年8月より生産を開始、約一年半が経過しようとしています。従業員も非常に若い人達で運営をしている活気溢れる会社です。将来の目指す姿として「人と地球に優しい工場作り」「良品100%を目指したTBS小規模工法の完成」の二本を大きな柱に経営を進めています。

まずはすべての基本を5S(整理、整頓、清掃、清潔、躰)と置き、生産当初より整理整頓を徹底してきました。2009年9月15日5S委員会を設置し、委員長を私が担当し5S推進を一段と進めることとしました。特に5番目のSである『躰』を通じて、無駄の排除、例えば、水、電気、蒸気、紙等、地球資源の効率的利用活動を進めています。中国ではまだま

だ分別の習慣が十分とは言えません。会社より“分別”の意義について、情報を発信し、2009年12月より再利用を徹底するため、19種類の分別を事務所から開始しました。結果、多くのリサイクルが可能になっています。

さらには2011年OSHMSの安全認証取得を目指し、確固たる安全安心の作業環境の提供と人作りを進めます。また、ISO14001の2010年上期認証取得を目標に、1月より活動を開始しました。

社会・環境貢献を目的に2007年開始をした『YOKOHAMA千年の杜』プロジェクトにも参加し、一昨年秋より毎年、ドングリ拾いを実施し、自前で苗を作り始めました。このような種々の活動を通じて横浜ゴムグループの経営計画『GD100』の基本方針である「トップレベルの環境貢献企業」を確固たるものにしていきます。

環境への取り組み

2010年度環境方針

- (1) ISO14001の認証取得に向け、活動を開始する。
- (2) 環境関連法規、その他の要求事項を守り、遵守する。
- (3) 5Sの活動を通じて、環境活動に貢献する。
- (4) 資源保護のために省資源、リサイクル化を推進する。
- (5) 教育制度を導入し、コミュニケーションを強め、全員参加で環境改善を推進する。

環境活動

当工場は、横浜ゴムの最新の技術と設備を投入して建設し、環境保護についても十分に配慮を払った工場となっています。

臭気対策(スクラバー臭気処理装置設置と評価結果)

タイヤ生産会社においては臭気排出低減が肝要です。当工場では、稼働当初より、臭気対策に取り組み、スクラバー設置。その総合効果は58%～68%の臭気を削減しました。

環境データ (年度は1月～12月)

項目		2009年度
廃棄物発生量(t)		504
埋立率(%)		0.0
エネルギー使用量 (原油換算:千kl)	電力	4.17
	燃料	2.02
	合計	6.19
温室効果ガス排出量(千t-CO ₂)		13.0
水使用量(千m ³)		92
有機溶剤排出量(t)		3.8

※2009年度の温室効果ガス排出量の算定は、日本の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用。

蘇州工場 スクラバー臭気処理装置 濃度低減率測定結果

項目	活性炭後	スクラバー後
No.1	24%	68%
No.2	26%	58%
No.3	57%	68%

(江蘇省環境測定センターより)

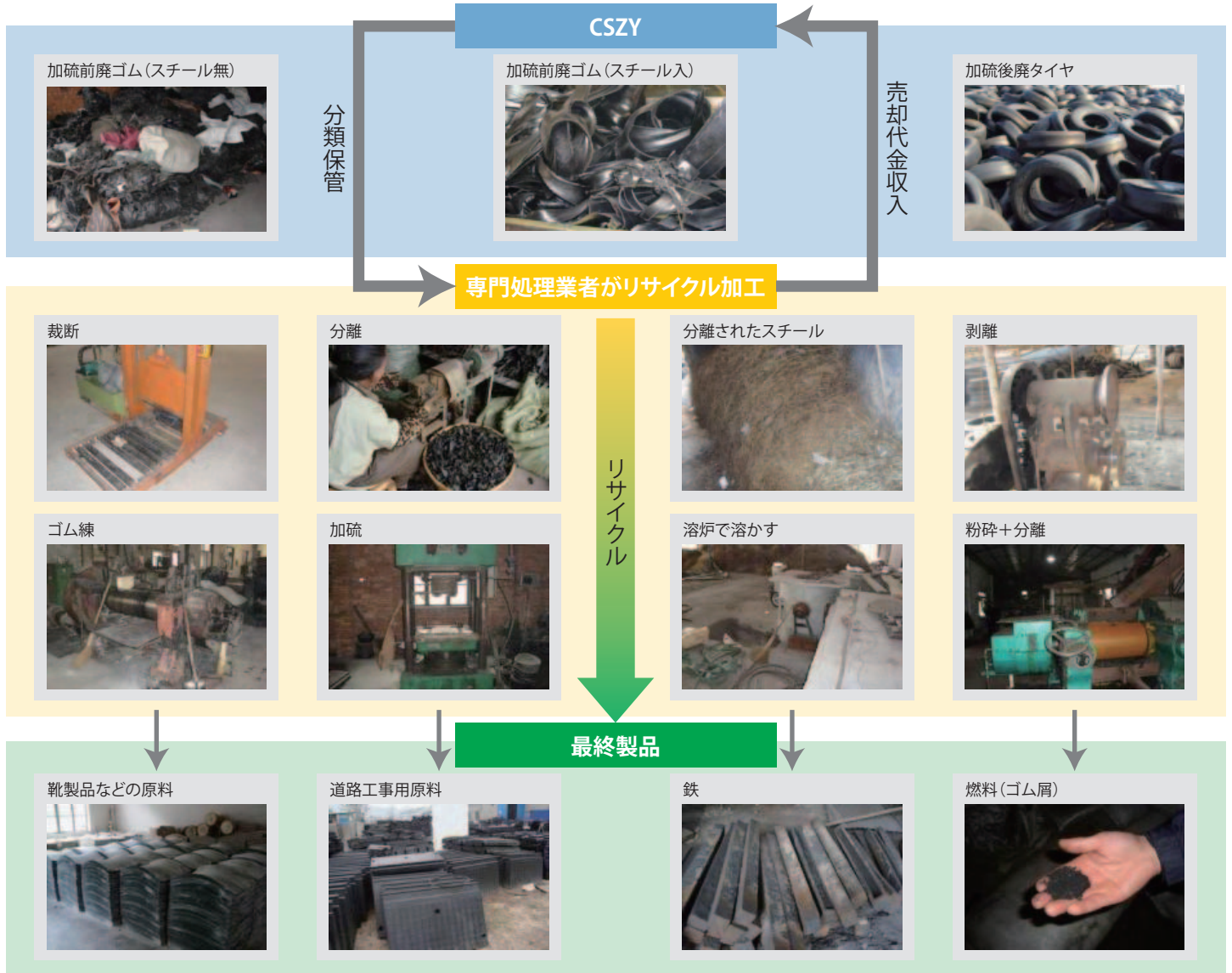
グループの共通目標であるゼロエミッション活動開始しました。

2009年12月、ゴミの分別回収を開始しました。

環境への取り組み

産業廃棄物管理

すべての産業廃棄物を再資源化する活動を開始しています。



安全への取り組み

労働衛生・人づくり

OSHMS認証取得により安全安心の提供と人づくり

・2009年度8月より安全衛生課を設置、安全認証OSHMS取得に向け活動継続。

・危険予知訓練、設備の危険評価(リスクアセスメント)、ヒヤリハットの抽出を毎月実施。

・OSHMSの危険予知訓練活動を通じて、決めごとの重要性を指導

地域とのコミュニケーション

これまでに寄せられた主なご意見と対応内容

工場開設時に、行政当局と協議して、臭気・騒音対策を行いました。



地球温暖化防止を目的に2007年開始をした『YOKOHAMA千年の杜』プロジェクト。2009年11月にはドングリ拾い実施し、5万個ものドングリを集めました。なお、昨年までのドングリ拾いの成果で3,000個もの苗が育っています。

